hope for japan

MISIAの森

mudef news
CONTENTS

P2

「アイノカタチ基金」
ロゴマーク募集

HOPE FOR JAPAN
クリスマス企画のご報告

P3

MISIAの森
フォトコンテスト
結果発表

P4

FFG基金寄付で
マゴソスクールに
給食を支援

mudef news Vol.65

音楽とARTを通じたよりよい世界づくりを目指す
mudefの「今」をお伝えするニュースレターです。

mudef news is a report on mudef's current activities,
which aim to change the world in a better way through music and art.

2019年3月31日発行

mudef

www.mudef.net

一般財団法人mudef　General Incorporated Foundation mudef (Music Design Foundation)
1500001 東京都渋谷区神宮前1-14-13　info@mudef.net

国立成育医療研究センターの基金
「アイノカタチ基金」のロゴマークデザインの募集
http://www.mudef.net/ainokatachi_award/

東京・世田谷区にある、国内最大規模の小児・周産期医療施設、国立成育医療研究センター。

この国立成育医療研究センターの基金の名称が、4人組ボーカルグループGReeeeN・HIDEが作詞作曲したMISIAの楽曲タイトル「アイノカタチ」に由来する「アイノカタチ基金」に決定！

これに合わせて、mudefではアイノカタチ基金のロゴマークの募集企画を実施することになりました！

ご応募いただいた作品を審査するのは、理事のMISIAやGReeeeN・HIDEさんなど、各分野でトップレベルの活躍を続ける著名なアーティストたち。全員が「子どもたちのために基金の存在をもっと多くの人に知って欲しい」という想いから、快くご協力をいただきました。

「アイノカタチ基金」へのご寄付は、子どもたちのための医療の研究や院内での生活環境の改善などに使われます。

これまで以上にたくさんの方が、ご寄付「アイノカタチ」を子どもたちに届けてくださるような、基金のシンボルとなるデザインをお待ちしております。

◎募集期間：2019年1月4日（金）～2019年2月28日（木）

◎審査員
MISIA（歌手／mudef理事）
GReeeeN・HIDE（男性4人組ボーカルグループ）
信藤三雄（アートディレクター、映像ディレクター、フォトグラファー、演出家／mudef理事）
大宮エリー（作家、演出家、画家／mudef理事）
紫舟（書家・アーティスト／「アイノカタチ」PVにご協力）

◎入賞
最優秀賞（1作品）：ロゴマークとして採用（副賞：10万円）
審査員賞（5作品）：5名の審査員それぞれの賞

HOPE FOR JAPAN
クリスマス企画のご報告
http://mudef.net/hopeforjapan/2019/02/post-35.html

昨年発生した大きな災害、西日本豪雨と北海道胆振東部地震。mudefではこの災害への支援としてHOPE FOR JAPANを展開し、MISIA理事のライブ会場などで募金活動を実施しました。

また、誕生日をきっかけとしたプロジェクト「Birthday Charity」の支援金も災害からの復興サポートに充て、2つのプロジェクトの目的から岡山県と北海道胆振地域の児童養護施設にそれぞれ寄付をさせていただきました。

【実施報告】
・期間：2018年6月22日（金）～2019年1月末
・全収益：¥7,557,795
・寄付金額：¥5,840,000
（岡山県内計14施設：¥5,040,000、北海道内胆振地方4施設：¥800,000）

さらにBirthday Charityに賛同いただいている俳優の伊藤健太郎さんが岡山県の2つの施設を訪問し、クリスマスプレゼントを届けてくださいました。みなさまのご協力、本当にありがとうございました。

MISIAの森
MISIAの里山ミュージアム2018フォトコンテスト結果発表！
http://satoyamabasket.net/forest/

石川の森や里山里海の魅力を再発見いただくことを目的とした「MISIAの里山ミュージアム2018フォトコンテスト」。
今回も全国のみなさまから、合わせて200点の写真の応募がありました。写真を送ってくださったみなさま、本当にありがとうございました。
ここでは、MISIA賞の写真5点を紹介します！それぞれの作品へのMISIAのコメントはこちら。
http://satoyamabasket.net/forest/2019/03/2018.html

MISIA賞

No.20「共存の恩恵」
松田 好申さん
2018年6月8日
@金沢市岸川町

No.120「星が降る夜」
岡部 佐穂里さん
2018年8月12日
@穴水町

No.31「お疲れさまでした！」
中林 義博さん
2018年10月20日
@白山市

No.42「命を潤すもの」
中西 優さん
2018年5月21日
@金沢市倉ヶ岳町

No.187「男の背中」
加藤加奈子さん
2018年6月8日
@珠洲市

そのほかの入賞作品賞は含む全応募作品は、Facebookページでご覧いただくことができます。どれもとても素敵な写真です。ぜひみなさんもお気に入りの写真を見つけて、実際の魅力を感じに
石川県の里山や里海に遊びに行ってみてくださいね！
https://www.facebook.com/satoyamamuseum/

すべての入賞作品をスライドでご覧いただける素敵な動画も作成。こちらもぜひご覧ください！
https://www.youtube.com/channel/UCPJz33QDqcwRPbi9_u2Qk3w

Project Magoso（プロジェクト・マゴソ）
FFG基金のご協力で今年は給食を支援！
http://mudef.net/magoso/2019/03/22/001037.html

昨年から始まった「ニュー スキン ジャパンForce for Good基金（FFG基金）」 のマゴソスクールへのご寄付のご協力。

前回はケニアの教育要綱の変更に合わせて教科書や教育備品の購入に使わせていただきましたが、今年はマゴソスクールの給食をご支援いただくことになりました。

マゴソスクールは、毎日朝と昼の2回、約600人の子どもたちに給食を提供しています。キベラスラムの貧困の中で暮らす子どもたちにとって、マゴソスクールの給食はほぼ唯一の栄養源です。

しかし、600人の子どもたちの給食をまかなうのはとても大変で、さらに食材や燃料の高騰も負担を大きくしています。

今回、FFG基金からいただいたご寄付は250万円。この金額は、子どもたちの朝ごはん分の給食約1年分が提供できる金額です。

マゴソスクールを運営する早川理事も「『マゴソスクールに行けばご飯を食べることができる』という事実は、子どもたちの生きる希望に繋がります」と話す通り、給食は子どもたちの命を直接支える大切な支援です。

FFG基金のご協力、本当にありがとうございました。みなさんもぜひ、マゴソスクールの給食支援にご協力ください。

https://www.nuskin.com/content/dam/jp/Info/pr/report_190322.pdf

また、3月8日の「国際女性デー」を記念して、都内で開かれるチャリティイベント「Make it happen」。 このイベントにmudefの早川千晶理事が登場！

「挑戦：なりたい私になろう」をテーマに、ケニアでスラムの子どもたちのために活動する早川理事がゲストスピーカーとして参加し、アフリカの女性の生き方などについて話をしました。

mudef (Music Design Foundation)

mudef（ミューデフ）は、国境も言語も人種も超える「音楽とデザイン」が持つ力で
地球規模の課題を解決することを目的に設立された団体です。
「世界中の子どもたちのため、未来の地球のため、よりよい社会を作りたい」
その想いを共有するアーティストがmudefに集い様々な活動を展開しています。

mudefへのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。
〈ご寄付はこちら〉三井住友銀行　渋谷駅前支店　普通4201703

"We want to make the better world for all children and the future on the earth."
mudef is a group of artists who share that principle.
We, mudef, try to contribute to solve the issues the Earth and human beings are facing,
through the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races.

mudef